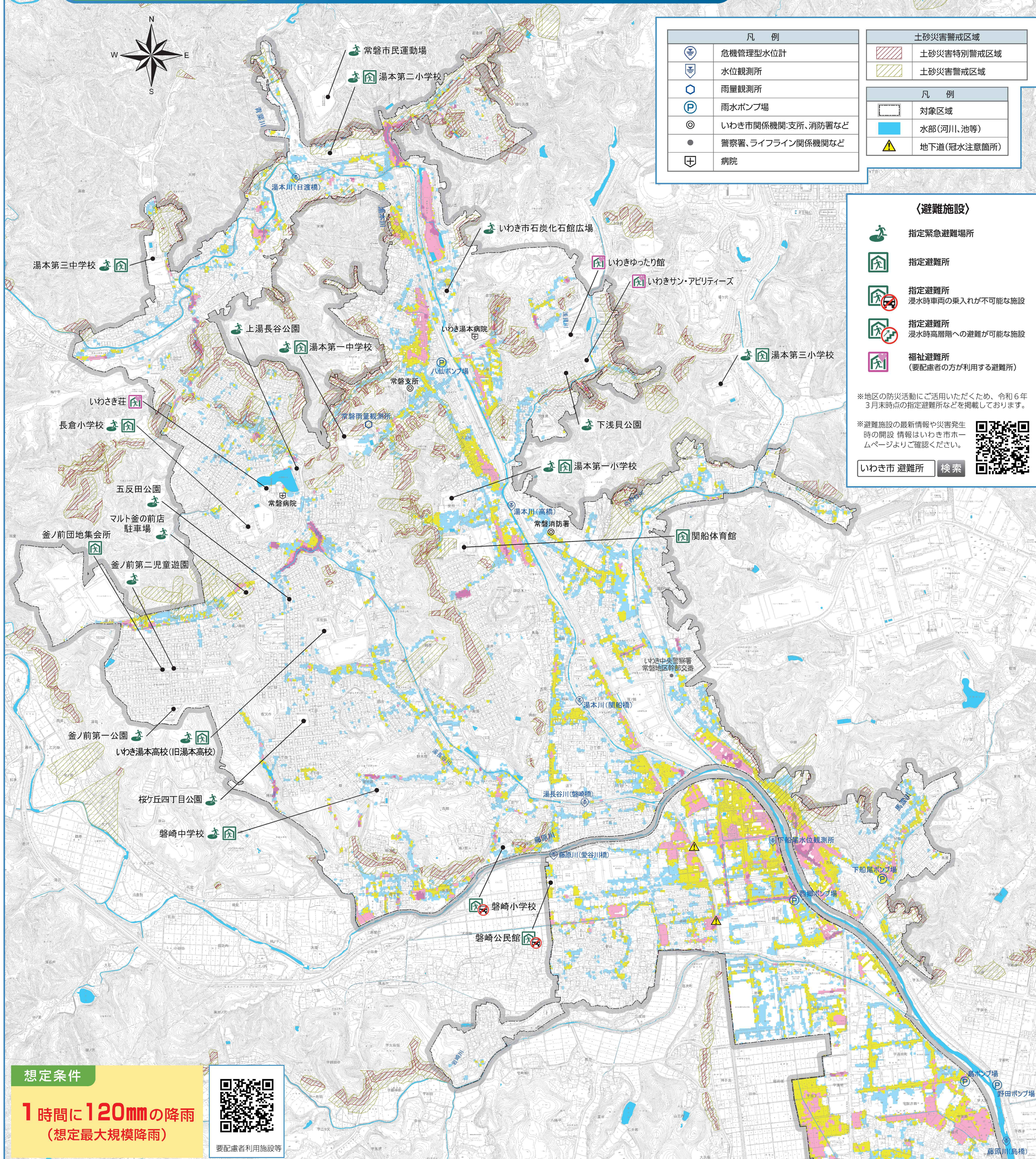


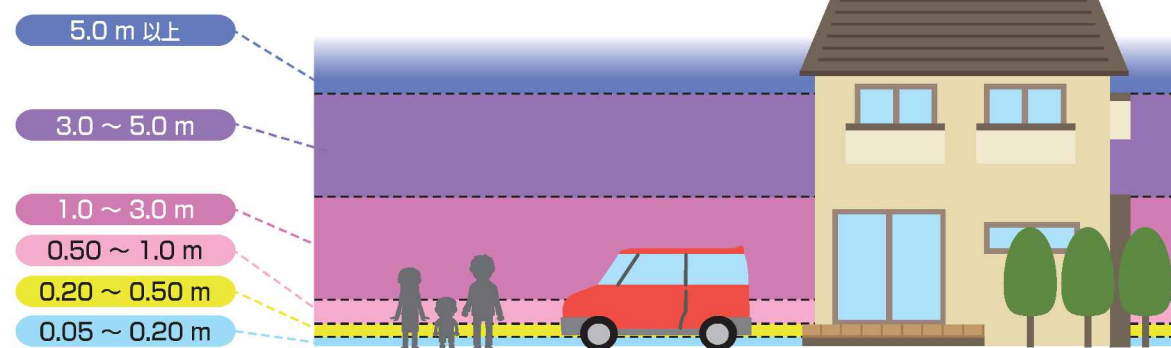
浸水(内水)ハザードマップ(浸水想定区域図)



浸水(内水)ハザードマップの説明

- この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日ごろからの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 - これまでの内水ハザードマップは、対象とする降雨を「平成25年4月に発生した降雨(1時間降水量91mm)」としていますが、今回の内水ハザードマップでは「**想定し得る最大規模の降雨(1時間降水量120mm)**」に変更しています。
 - 河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。
 - 浸水のおそれがある場合には、安全な場所へ避難してください。
 - ※土地の状況や雨の降り方によっては、想定を超える浸水となったり、想定と異なる区域で浸水が発生したりすることがあります。**
 - 避難所などについては、地区の防災活動にご活用いただくため、指定の避難所などを掲載しております(令和3年1月時点)。
- 最新の避難所などの開設情報や連絡先は、いわき市ホームページよりご確認ください。
- ※この図面は、水防法第14条の2の規定に基づき、雨水出水浸水想定区域と同じ浸水想定結果を表示しています。

想定される浸水深	
	5.0 m以上
	3.0 ～ 5.0 m
	1.0 ～ 3.0 m
	0.50 ～ 1.0 m
	0.20 ～ 0.50 m
	0.05 ～ 0.20 m



防災メモ
局地的大雨について

局地的大雨とは、ニュースなどでは「ゲリラ豪雨」と呼ばれ、他の地域が小雨であっても、ごく限られた地域で短時間に激しい雨が降ることであり、全国的に増加しています。なお、大雨や洪水の気象情報が発表されていなくても、天候の急変により重大な事故につながる可能性があります。そのため、注意が必要です。

※背景図は、令和2年度編纂 都市計画図(デジタルマッピングデータ)を基に作成。